

☆地域包括ケアふじえだプロジェクト☆

平成30年12月5日 VOL. 82

介護さわやか相談員と受入施設職員による意見交換会を開催

グループでの活発な意見交換

平成30年11月19日(月)5階大会議室において、「さわやか相談員の資質向上と施設におけるサービスの質の向上を“ともに”考える」ことを目的に開催しました。介護さわやか相談員の訪問の受け入れをしている市内の施設24カ所から、施設長や介護長、ケアマネジャーや生活相談員ら22名が出席、さわやか相談員と合わせて36人が小グループに分かれ、日頃サービスを提供するうえで努力していることや心掛けていること、失敗から経験したこと等について意見を出し合い共有しました。



今後も橋渡し役として活動します！



意見交換では、「自分らしく生活したい」利用者の思いに向き合うため施設職員が実践していることや、認知症の人に配慮したコミュニケーションにおける工夫について、各施設での取組みを基に活発な意見交換が行われました。施設職員からは「サービスの質において、職員間の意識の統一が必要」「認知症への理解がケアの質へ影響することを再認識した」「第三者の目線や意見が大変貴重、相談員にはこれからも利用者の思いや訴えに寄り添ってほしい」との声が挙がりました。介護相談員からも「今後も利用者が本音を話せるような“気持ちの寄り添い”に努めたい」と気持ちを新たにしている意見が出ました。

今後も施設と利用者の橋渡し役である介護さわやか相談員の活動を推進していきます。

「藤枝市介護相談員だより」を発行しました

藤枝市介護相談員連絡会（代表 栗原義明氏）は、高齢者の尊厳（自分らしさ）と介護サービスの質の向上をめざした活動の報告とPRを目的に、広報紙を発行



しました。この広報紙は、市役所地域包括ケア推進課や地区交流センターなどで配布しています。

